

## 【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	今、子どもたちの身体からたくさんの SOS が出されています。改善のためには、「生ごみリサイクル元気野菜づくり」を体験し、学ぶことが改善策である。	食育推進計画の、ライフステージごとの取り組みにおいて、食に関する正しい知識を身につけ実践できるように、野菜作り等の体験も含めて進めていきたいと考えております。
2	なぜ「1日の中で食卓を家族や友人と囲むことがある者の割合」を評価指標にしたのか。一人暮らし等の場合はどのような支援があるのか。	家族で一緒に食事をしたり、料理を作ったりしてコミュニケーションを持つことは、食育を推進するためには、非常に大切なことです。地域では、一人暮らし等の支援として、昼食招待事業や地域の茶の間、食生活推進委員による伝達講習会等各団体がさまざまなサービスを行っています。ぜひ、多くの人に参加していただきたいと考えております。
3	なぜ、「毎食野菜を食べる人の割合」を指標にしたのか。一日2回食べても適量摂取している人もいれば、3回食べても適量摂取していない人もいると考えられる。回数だけでは、適切な評価はできないのではないのか。	特定健診会場で実施したアンケート調査から見ると、市民の野菜摂取は十分といえない状況にあります。確かに毎食野菜を食べているといっても、適量を摂取しているかどうか把握することは困難ですが、概ねの目安ということで、評価を行いたいと考えております。
4	「市の食に関するアンケート平成26年」とは、どのような対象に実施したのか。	市内保育園園児の保護者、市内小学校生徒（4～6年生）及び保護者（1～3年生）、市内中学生、市内高校生（村上・桜ヶ丘・中条）です。
5	「行動目標」は、市民が実践することであり、「目標達成への取り組み」は行政の取り組みと考えてよいか。	お見込みのとおりです。
6	27 ページの「目標達成の取り組み」について、市民と行政の取り組みが混在しているので、整理が必要である。	ご指摘のとおりですので、下記のとおり修正いたします。 ②多量飲酒の害や適正飲酒を周知する。 ③肥満を予防し、適正体重を維持する必要性を周知する。

7	<p>「身体活動・運動」の中の表記に、運動しやすい環境の整備が重要としていますが、冬季の道路環境は歩行に不向きであり、消雪や融雪の技術、道路整備等保健医療課だけでなく、関係各課の横の連携をもち、改善していく必要があるのではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、保健医療課だけの解決は困難な状況です。関係課では、それぞれの計画に基づいて、都市整備や環境整備を行っています。市の財政状況もあり、順次進めていく予定ですので、ご理解のほどよろしく申し上げます。</p> <p>また、冬期間の運動については、65歳以上の人は、申請をすることにより「体育館走路使用免除」が受けられますので、その周知も併せて行いたいと考えております。</p>
8	<p>基本理念の「村上の文化や風土をいかしながら」という表現には、事柄によっては、保健的に望ましくないことも含まれているため、「活かして」の表現が望ましい。</p>	<p>一般的に考えると、望ましくないことを取り入れることは考えられません。村上市のよさを取り入れた計画を進めていきたいと考えております。</p>
9	<p>「取り組み」の記載について、それぞれの取り組みの中に「行政」が無関係ではない事柄も含まれているため、「関係機関との調整と協働が必要な取り組み」や「担当課が中心に実施する取り組み」と掲示したほうが、実施主体と責任が明確になる。</p>	<p>計画実践のための取り組みとして、「個人・家庭・地域」「関係機関」「行政」の3つの分野として区分けをしてあります。それぞれの区分は独立しているものではなく、互いに連携しながらの実践が必要となっています。この区分は、おおまかな区分としての設定であり、行政以外の分野に責任まで求めてはいません。あくまでも、行政が取り組みを提案し、主体的に進めていく計画としております。</p>
10	<p>「バランス良く食べようといっても、具体的に示してほしい」「見て直ぐに判るような目安の表現があると良い」など、視覚的に簡便に利用できるようなものを普及してほしい。</p>	<p>実践していく中では、媒体を工夫したり、市民の皆さんが取り組みやすいように工夫していきたいと考えております。</p>
11	<p>地元産物の生産手法、栽培方法がより安全であるか否か、消費者が判断しやすいような知識の普及を考慮してほしい。</p>	<p>「3食の安全安心」で触れていますが、食品に対する正しい知識を身につけることの必要性を本文に記載しています。関係課及び地産地消推進協議会等と連携して、市民に正しい知識を普及していきたいと考えております。</p>